

主役は俺だ－2022年秋①

■寺川隆吾（てらかわ・りゅうご） 北海学園大 WR 4年

北海学園大が2連覇を果たした昨年の北海道学生選手権で、忘れられないプレーがある。トーナメントで競った決勝の北海道大学戦の第4Q。6－14の劣勢で迎えたが、WR佐藤玲太（当時4年、主将）へのTDパスが決まり12－14。続く2点コンバージョンで同点パスをキャッチしたのが当時3年の寺川だった。さらにその6分後、決勝点となる3ヤードTDパスをキャッチしたのも寺川。「試合の流れが北海学園に来ていた。チームの思いが指先に伝わってきた」と感慨深げに振り返った。

名門・北海高野球部では外野手。先輩たちの甲子園の戦いをベンチの外から応援したが、3年夏は南北海道大会で敗れた。「大学では新しいスポーツをやりたかった」とアメフト部に飛び込んだ。新入生歓迎会の楽しい雰囲気にも引かれた。50ヤード4.6秒の俊足と、野球で鍛えた捕球センスを生かしてWRに。「入部当時の主将のWR成田将吾さん（現オービック）のカッコ良さにあこがれた」という。

初キャッチは1年生の札幌大戦。「2本のTDを取った。めちゃくちゃ緊張したが、よく覚えている」と思い出し、「足の速さを買われて1年生からスタメン。成田さんや（佐藤）玲太さんより速かった」と誇らしげに胸を張った。

パスの北海学園大のエースの系譜を引き継ぐ今季。「WRは自分の手で試合を決められるのが魅力。自分が絶対に点を取るんだという気持ちを持っている。歴代のエースはすごい人ばかりだが、負けないようにしたい」と闘志を燃やす。

開幕も目前。「今季の目標はまず、北海道リーグの3連覇。そのためには、自分がリーグで一番多くTDを取りたい。その次が、去年パインボウルで負けた東北大にも勝つこと。東北大守備にびびらず、自信を持って臨みたい」と力強く宣言した。

〈プロフィール〉

2000年9月21日、恵庭市生まれ。経済学部経済学科。北海高出身。175センチ、75キロ。「尊敬する選手は成田さんと玲太さん。チームを引っ張り、試合の流れを持ってくるところを間近で見てきた」。

